



第2部
リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクトの位置づけ

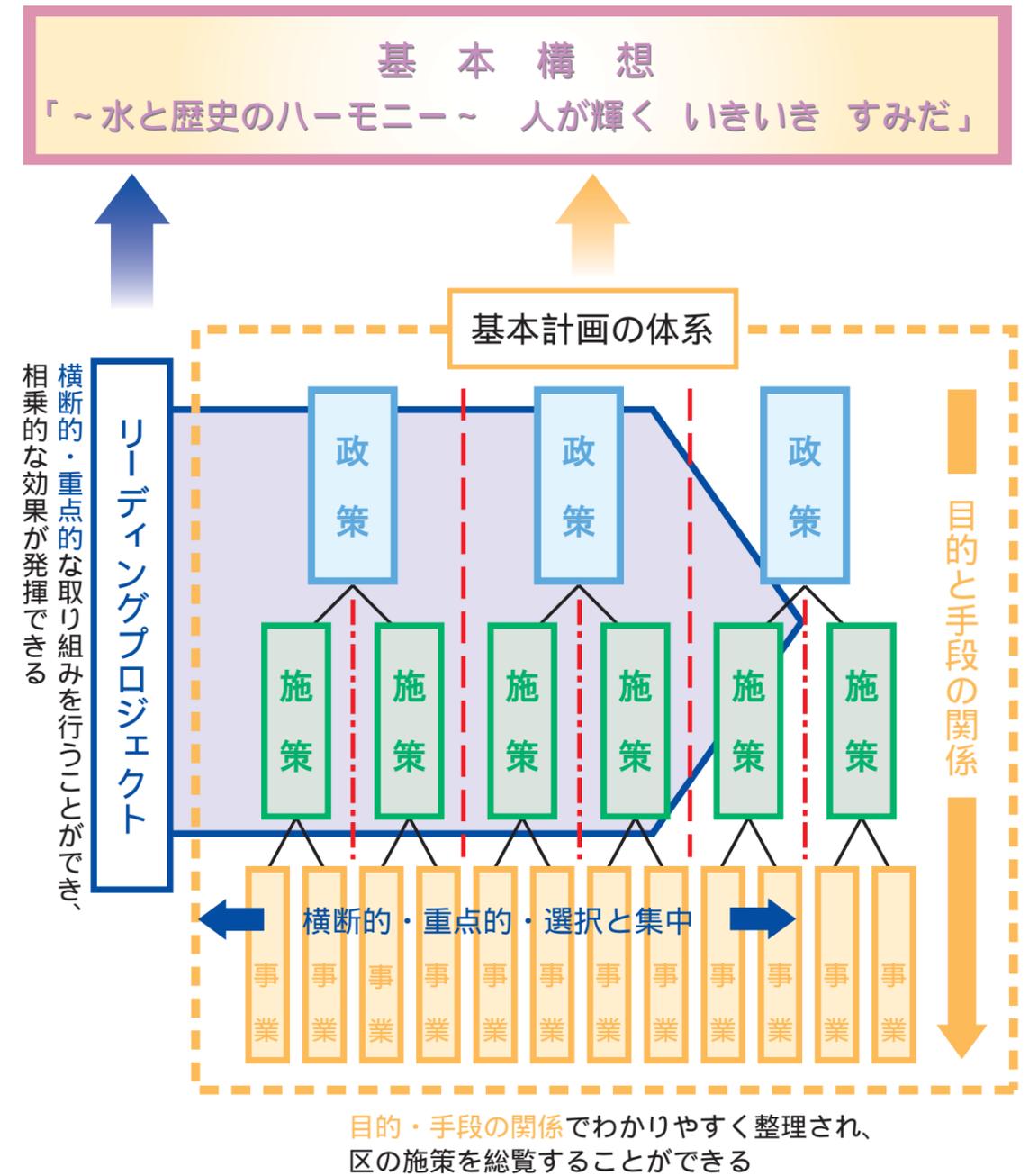
■ リーディングプロジェクトとは

リーディングプロジェクトとは、基本構想の実現に向けて基本計画全体をリーディングする（先頭に立って導く）誘導的なプロジェクト事業のことです。

基本構想に掲げるまちづくりの基本理念「～水と歴史のハーモニー～ 人が輝く いきいき すみだ」を実現していくうえで、優先的かつ重点的に関係主体が連携して取り組む必要がある課題を抽出し、これらの課題を解決するため各分野における施策を横断的に関連付け、相乗的な効果が発揮できるように、基本計画の体系とは別に「リーディングプロジェクト」として設定したものです。今後は、国や都などの協力を得ながら区民、事業者、区が協働して推進しその実現をめざします。



■ リーディングプロジェクトのイメージ



リーディングプロジェクト1

人々がいきいきと輝く、 夢と希望のまちをめざします

I 目標・方向性

少子高齢社会の進展や障害者の自立の促進、区民のライフスタイルの変化などに対応した数々の支援の選択肢が用意され、すみだで生活するすべての人が犯罪や災害の不安がなく充実した日々の生活を送るとともに、水と緑のあふれたうるおいの空間につつまれ、区民が「すみだに住み続けたい」と思うまちになっています。

1 犯罪が少なく、
災害に強い
安全で安心な
まちづくり



2 地域ぐるみで行う
次世代の育成と
すみだらしい教育の提供



区民が
「すみだに住み続けたい」
と思うまち

3 すべての人が
地域でいきいきと
暮らせるしくみづくり



4 環境への
負荷の少ないまちづくり



II 目標設定の背景

1 安全・安心の確保

老朽木造住宅が密集し、かつ狭い道路が多い本区では、これまで以上に計画的に建物の耐震化・不燃化を進め、有事の際には、迅速かつ適切な初動態勢が講じられるような取り組みが必要です。さらには、地域社会のもつ防犯機能をより一層強化することが求められています。

2 子どもの育成

子どもは家庭の宝であるとともに、地域の宝です。地域コミュニティのなかで子ども自身もっている生きる力、育つ力を最大限尊重し伸ばしていくとともに、子育て家庭を地域ぐるみで応援していく数々の選択肢を用意する必要があります。

さらに、学校、家庭および地域社会が密に連携しながら、「すみだ」らしい教育内容を進めていくことが必要です。

3 高齢者・障害者の自立

本区は、総人口に占める高齢者の割合がすでに20%を超えているうえ、今後、いわゆる団塊の世代が企業を退職する年齢となり、健康で社会参加意欲の高い「シニア層」が増加していくことが見込まれます。さらに障害をもつ方々も、地域社会の一員として社会に参画し、自立した生活を送りたいという意欲をもっています。このように、高齢者や障害者が住み慣れた地域で自立した生活を営み、いきいきと活動できるようなくみづくりが求められています。

4 環境の共創

区民、事業者、区がそれぞれの役割を主体的・積極的に果たし、地域環境に負荷の少ない資源循環型社会を実現するため、足元から取り組みを強化していくことが求められます。

Ⅲ 課題解決に向けたプロジェクト

1 犯罪が少なく、災害に強い安全で安心なまちづくり

事件や事故、社会環境の変化により生まれた都市型犯罪に対し、人々の目による見守りや防犯のまちづくりを進めるため、地域防犯力の向上を図ります。さらに、災害そのものに強く、緊急時における地域の危機管理態勢の強化により区民が安心して日々を過ごせるまちづくりを進めていきます。

① 区民が不安や心配を感じなくてすむ地域防犯力の向上

身近な犯罪を防止し、区民が安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、地域で見守りあい、助けあう協働の精神を支援します。

主な取り組み 地域で行う防犯活動の育成・支援

② 災害や脅威に対する防災の強化

老朽木造住宅が密集し、かつ狭い道路が多い本区では、災害そのものに強い「燃えない・壊れない」まちとして、これまで以上に計画的に耐震化・不燃化対策を行うほか、有事の際に被害を最小限に食い止め、すみやかに復興が進むような態勢を強化します。

主な取り組み 壊れないまちづくり、住宅市街地総合整備の促進
災害時における地域の高度な助けあいのしくみづくり、防災機能の充実
学校施設・公共施設等の耐震化



2 地域ぐるみで行う次世代の育成とすみだらしい教育の提供

すみだで安心して子どもを育てていただくための、福祉・教育などの各種施策を組合せた次世代の育成や教育の内容をさらに充実していきます。

① 多様な子育てサービスの充実

保育サービスの量的・質的充実を図り、自宅で子育てをしている家庭も含めた、すべての子育て家庭が利用できる多様なサービスの確保を進めます。

主な取り組み

公民協働による保育サービス充実(一時保育、夜間延長保育、休日保育、特定保育、病後児保育など)
幼保総合施設(認定こども園*)の整備

② 子育て総合コーディネートの実施

身近な地域で子育てに関するさまざまな悩みや不安に関する相談に応え、支援につなげる体制やコーディネート機能の充実を進めます。

主な取り組み

子育て支援総合センターの設置とサポート体制の整備
子育てグループの育成

③ 「確かな学力」など「生きる力」を身につけるための、すみだらしい教育の提供

子どもたちが心身ともにバランスのとれた「生きる力」を身につけるための教育内容を充実するほか、区立学校適正配置の進捗状況を踏まえ、子どもたちの発達段階にあわせてきめ細かい先駆的な学校づくりを行います。

主な取り組み

すみだ教育指針の推進
幼小中一貫教育の実施

* 認定こども園：0歳から就学前の乳幼児を対象に、親の就労状況にかかわらず子育て支援を行う総合施設です。

4 環境への負荷の少ないまちづくり

本区はすみだらしさの一つである「雨水利用」など、「環境にやさしいまち」に力を入れてきましたが、さらに実践的な環境教育を実施することにより、これまで以上に資源のリサイクル、ごみの削減を進め、緑や水辺を創造し、環境負荷の少ないまちづくりを進めます。

1 生涯を通じた実践的な環境教育の提供

区立学校での教育をはじめ、環境にやさしい生活を送りたいすべての人が学べる実践教育を推進します。

主な取り組み 地域と連携した環境学習の提供、環境意識の普及・啓発

2 家庭や地域のごみ減量への支援(もったいないプロジェクト)

「ごみを出すな ごみを増やすな もったいない」をスローガンに、区民、事業者、区がごみ減量やリサイクルに向けたみずからの役割を主体的・積極的に果たし、資源循環型社会の実現をめざします。

主な取り組み 新たな回収システムの定着化支援、家庭ごみ排出の抑制
ごみ減量に向けた啓発・学習機会の支援

3 地球温暖化*防止に向けた一層の取り組み

地球温暖化を防止するため、区民、事業者、区がそれぞれの役割を認識し、二酸化炭素排出削減などに取り組みます。

主な取り組み 地球温暖化対策

4 緑や水辺の空間創出

公共空間や公共施設を活用した緑と水辺空間の創出を図り、水と緑のネットワークづくりを促進します。

主な取り組み 開発時における、緑のオープンスペースの創出
隅田川・北十間川などの水辺空間のにぎわい創出
学校跡地を緑の運動広場化

*地球温暖化：地表は、太陽からのエネルギーで温められているとともに、暖められた地表からは熱を放射しています。この熱が大気中に含まれている二酸化炭素などの温室効果ガスによって吸収され、再び地表に戻ってくることから、地球の平均気温は15 前後という過ごしやすい環境に保たれています。地球温暖化は、温室効果ガスの濃度が高まったことによる熱の吸収量が増え、大気中に熱がこもり地球の気温が上昇する現象をいいます。

3 すべての人が地域でいきいきと暮らせるしくみづくり

すべての区民が社会の一員として、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせるようなコミュニティづくりを進めます。

1 障害者が住み慣れた地域で社会生活ができるしくみづくり

障害の早期発見・早期対応に努めるとともに、身近な地域で療育相談や療育指導が受けられる体制を強化します。また、障害のある人の地域における自立と自己実現を支援します。

主な取り組み 心身障害児療育施設・心身障害者通所更生施設・知的障害者通所授産施設の整備、グループホーム・ケアホームの整備、就業支援の機能強化
精神保健の普及・啓発

2 生涯を通して社会に参画し、いきいきと生活できるしくみづくり

間もなく定年を迎える団塊の世代や高齢者はもとより、すべての人が自分の能力を活かして地域社会に参画できるしくみを構築するとともに、生涯を通じた健康づくりを推進します。

主な取り組み コミュニティビジネス*やソーシャルエンタープライズ*への支援
区民の健康維持・増進への支援強化
地域プラザ・地域ふれあい館の設置
区民活動センター(仮称)の設置



*コミュニティビジネス：地域が抱える課題を地域住民が主体となって、ビジネスの手法を用いて解決する取り組みです。

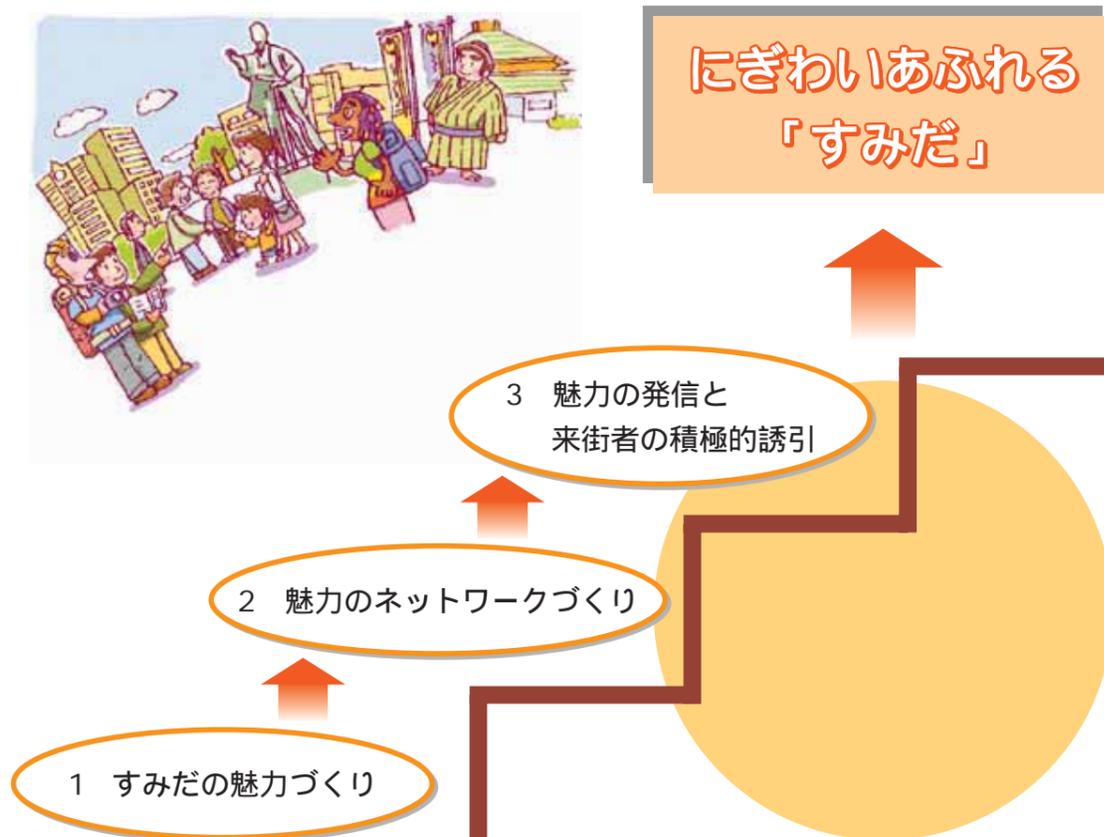
*ソーシャルエンタープライズ：地域に貢献する社会的企業のことです。

リーディングプロジェクト2

「魅力都市すみだ」をめざします

I 目標・方向性

歴史や文化を活かした「すみだ」でしか味わえない観光資源や観光ルートが整備され、水と緑あふれる魅力あるまちなみを備えた、内外からの注目を浴びる国際観光都市となっています。まちは観光客や仕事で訪れる人でにぎわっており、魅力あふれる「すみだ」を誇りに思う地域の人たちが、来街者をもてなす「やさしいまち」になっています。



II 目標設定の背景

平成18年3月に、新タワーの建設地が本区の押上・業平橋地区に決定しました。この新タワーはすみだの魅力に大きく寄与するもので、完成後は数多くの来街者が見込まれています。新タワーに来る観光客に、区内を回遊してもらい、新タワー以外の魅力も満喫して「すみだにまた来たい」と思うリピーターを増やすことが、持続的ににぎわいを創出するうえで欠かせません。

また、人々の価値観やニーズの多様化、ライフスタイルの変化に伴い、観光目的も多様化し、大きな変化が予想されます。そのため、地域の魅力や地域の人材を最大限に活用し、多様化する観光ニーズに対応した新たな観光施策を効果的に展開していく必要があります。また、観光地として持続的に発展していくためには「地域住民」・「観光事業者」・「観光資源」の三者間で調和の取れた「観光まちづくり」を推進していかなければなりません。このため区、地域住民、民間事業者など観光に携わるさまざまな主体が協働して「観光まちづくり」を推進していくことが求められています。

魅力と活力あふれる、持続的ににぎわい



Ⅲ 課題解決に向けたプロジェクト

1 「すみだの魅力づくり」・・・魅力の個別整備を行います。

タワーオープンにより見込まれる数多くの来街者が、新タワー以外の「すみだ」の多様な魅力を満喫し、「すみだにまた来たい」と考えるリピーターを増やし、一過性ではない持続的なにぎわいを創出します。

① 観光資源の開発

「国際観光都市『すみだ』」にふさわしく、国内外からの来街者が見込める新しい観光資源を創出するとともに、既存の観光資源を観光客の視点で再発見し、観光資源としてのさらなる活用を行います。

主な取り組み	北斎館（仮称）の建設
	観光案内所の設置、観光標識や説明板の整備、ウェルカム・ボードの設置、きれいなトイレの整備

② 良質な景観・環境の創出

水と緑があふれるうるおいのある都市景観を創出し、訪れる人にも住む人にも快適で心地のよいやさしいまちをつくりまします。

主な取り組み	旧安田庭園の再整備、墨堤の桜の保全・創出
	隅田川艇庫（仮称）の整備
	公園新設・再整備
	北十間川の再整備

③ 区民文化の活性化と観光資源化

すみだの魅力となる地域文化を活性化するため、区民文化活動を積極的に支援します。また、すみだの多彩な食文化を観光資源として活かしていくため、観光メニューづくりに取り組みます。

主な取り組み	区内のさまざまな食文化を活かした観光メニューづくりやイベントの開催
--------	-----------------------------------

④ 来街者の趣向にあったグッズ・特産品の開発

事業者が、新タワーや区の所有する北斎画などを用いて、本物志向で独自性の高い商品を開発しやすいようなしくみをつくりまします。

主な取り組み	特産品の開発への支援
--------	------------

2 「魅力のネットワークづくり」・・・魅力の面的整備を行います。

個別に存在する魅力の相乗効果を促し、すみだの魅力を活性化するとともに、回遊性を創出することにより、できるだけ観光客に区内に長く留まっていただき、区民とのより一層の交流や活発な消費を促します。

① 観光資源を結ぶ移動手段の確保

区内の観光資源やにぎわい拠点の間の移動を容易にする交通手段を確保し、観光客の回遊を促します。

主な取り組み	観光施設等回遊性の向上
--------	-------------

② 観光客の趣味や嗜好にあった観光コースづくり

区内のそれぞれの魅力を観光客の趣味や興味にあわせてコースづくりを行い、自由に回遊できるようにします。

主な取り組み	テーマ別・ジャンル別の観光メニュー、回遊コースづくり
--------	----------------------------

3 「魅力の発信と来街者の積極的誘引」・・・魅力の外部発信を行います。

「新タワーのオープン」という内外からすみだが目される好機を逸することなく、戦略的に「国際観光都市『すみだ』」の魅力をアピールし、来街者を積極的に招き入れます。

主な取り組み	外国語対応の観光（観光案内板・ホームページなど）
	観光ポータルサイト*の作成
	海外からの観光客に向けた体験型観光メニューづくり

*観光ポータルサイト：区の観光施策に関する情報だけでなく、区内のグルメやショッピングなどのさまざまなサイトとリンクされており、すみだの魅力に関する情報を手に入れることができるサイト。ポータル（portal）は、「入り口」「玄関」の意味です。